

気候変動に関する対話シンポジウム

将来の安全・安心な 社会をめざして

参加
無料

地球温暖化が我々の社会に与える影響は顕在化しつつあり、温室効果ガスの排出を抑えるだけでなく、気候変動の影響に備える「適応策」の必要性が増してきています。

この問題に取り組んでいる文部科学省による「気候変動適応研究推進プログラム (RECCA)」と環境省による環境研究総合推進費 S-8「温暖化影響評価・適応政策に関する総合的研究」の研究成果を紹介し、安全・安心な将来社会のあり方について、皆様と共に考えたいと思います。また、これらの研究が東日本大震災の復興にどう貢献できるかも議論するため、対話シンポジウムを開催いたします。

日時 : 平成 **23** 年 **10** 月 **12** 日(水) **13:30~17:30** (開場 13:00)

場所 : 日本科学未来館 (東京都江東区)

主催 : 文部科学省 気候変動適応研究推進プログラム
環境省 環境研究総合推進費 S-8 「温暖化影響評価・適応政策に関する総合的研究」

定員 : **300** 名

申込 : <http://www.mext-isacc.jp/> (事前登録制)

事務局から登録受付完了のメールが
返信されますのでドメイン指定受信
を設定されている方は「mext-isacc.jp」
を受信できるように設定してください。



文部科学省 気候変動適応研究推進プログラム (RECCA)

気候変動適応に関する研究水準の大幅な底上げ、適応策検討への科学的知見の提供、気候変動による影響に強い社会の実現に貢献することを目的として、平成 22 年度より開始された文部科学省のプログラム。都道府県あるいは市区町村などの地域規模で行われる気候変動適応策立案に対し、科学的知見を提供するために必要となる研究開発を行っている。プログラムの中には、「水」「都市」「農林漁業」の研究領域で合計 12 の研究課題が含まれており、それぞれの課題が日本国内の特定の地域を研究対象としている。

RECCA ホームページ

<http://www.mext-isacc.jp/>

環境省 環境研究総合推進費 S-8 「温暖化影響評価・適応政策に関する総合的研究」

我が国やアジアを対象にした地球温暖化の影響予測と適応策に関する環境省の戦略研究。平成 22 年度～ 26 年度の 5 年間の研究によって、①我が国に対する影響の詳細な予測と適応効果の評価、②都道府県や市町村レベルでの適応策策定の支援、③厳しい影響が予想されるアジア太平洋地域の途上国における適応策の計画・実施に関する研究を進めている。これらの課題に、12 の研究チームが協力しながら取り組み、安全・安心な気候変動適応型社会の実現への貢献をめざしている。

S-8 ホームページ

http://www.nies.go.jp/s8_project/index.html



電車： ■ 新交通ゆりかもめ (新橋駅～豊洲駅)「船の科学館駅」下車、徒歩約 5 分
「テレコムセンター駅」下車、徒歩約 4 分
■ 東京臨海高速鉄道りんかい線 (新木場駅～大崎駅)
「東京テレポート駅」下車、徒歩約 15 分

無料巡回バス： ■ 「日本科学未来館」下車
※ 臨海副都心内を無料で巡回しているバス (11:00 より 20:00 の間、15～25 分間隔で運行)

路線バス： ■ 「品川駅東口」より都バス [波 01 出入]「日本科学未来館前」下車
※ 平日、土曜・祝日のみの運行 (日曜は運休) 運行本数少

プログラム

司会進行 武若 聡

(筑波大学大学院 システム情報工学研究科 准教授 / RECCA プログラムオフィサー)

13:00～13:30 受付 (ポスターセッション)

第一部 講演 13:30～14:50

13:30 開会挨拶 文部科学省及び環境省

13:40 「どうするの? 温暖化対策
～テレビマンの素朴な疑問～」
室山 哲也 (NHK 解説主幹)

14:10 「日本の研究が示す気候変動の影響と対応策」
三村 信男 (茨城大学 学長特別補佐)

14:40 分科会説明 各モデレータ

14:50～15:10 休憩 (ポスターセッション)

第二部 分科会 (パネルディスカッション) 15:10～17:30

分科会① 気候変動と将来気候：
温暖化によって将来の気候はどう変わるのか？

共同モデレータ：木村 富士男
(海洋研究開発機構 地球環境変動領域 プログラムディレクター)

日下 博幸
(筑波大学 計算科学研究センター 准教授)

分科会② 気候変動と影響評価：
様々な分野における温暖化の影響とその対策とは？

共同モデレータ：西森 基貴
(農業環境技術研究所 大気環境研究領域 主任研究員)

滝沢 智
(東京大学 大学院工学系研究科 教授)

分科会③ 気候変動と自治体：
地方自治体は気候変動にどう対応できるのか？

共同モデレータ：那須 清吾
(高知工科大学 社会マネジメント研究所 所長)

田中 充
(法政大学社会学部・大学院政策科学研究科 教授)

分科会④ 気候変動と震災：
適応策研究は震災復興にどのように役立つのか？

共同モデレータ：小池 俊雄
(東京大学 大学院工学系研究科 教授)

風間 聡
(東北大学 大学院工学研究科 教授)

17:30～18:00 ポスターセッション

※ プログラムの内容は予告なく変更される場合があります。

■ 講演者プロフィール



室山 哲也

NHK 解説委員

昭和 51 年 NHK 入局。「ウルトラアイ」「クローズアップ現代」「NHK スペシャル」など科学番組プロデューサーの後、NHK 解説主幹。科学技術、生命・脳科学、環境、宇宙工学などを中心に論説を行い、子供向け科学番組「科学大好き土よう塾」(教育テレビ)の塾長として科学教育にも尽力。モンテカルロ国際映像祭金獅子賞、銀獅子賞・レーニエ 3 世賞・放送文化基金賞・上海国際映像祭撮影賞・科学技術映像祭科学技術長官賞・橋田壽賀子賞ほか多数受賞。日本科学技術ジャーナリスト会議理事。日本惑星協会理事。日本宇宙少年団理事。



三村 信男

茨城大学教授 学長特別補佐
RECCA プログラムディレクター /
S-8 研究代表者

1979 年東京大学大学院都市工学専攻博士課程修了。東京大学助教授、茨城大学工学部教授などを経て、2006 年から茨城大学地球変動適応科学研究機関長・学長特別補佐を務めている。専門は、地球環境工学、海岸工学。「気候変動に関する政府間パネル (IPCC)」の第 2 作業部会「影響・適応・脆弱性」に関する報告書の執筆を担当した。共著・編書に「サステナビリティ学をつくる」新曜社 (2008)、「Asia-Pacific Coasts and Their Management」Springer (2008)、「サステナビリティ学⑤ 持続可能なアジアの展望」東大出版 (2011) 等がある。